

ヒマラヤザクラ

森野かずみ



ヒマラヤザクラの花

ケヤキやサクラの紅葉は11月中旬が見頃ですが、イロハモミジやコナラなどの紅葉は12月になってからのようです。板橋や練馬では紅葉の期間が意外と長いので、公園などいろいろな樹木の色彩を楽しんでください。特にイロハモミジの赤色は青空での逆光がおすすすめです。

今月の花散歩は新宿御苑まで足を延ばしてみましよう。環境省が管理する有料施設ですが、ぶらぶら歩くにはいい場所、12月初めの桜が目的です。

秋の桜はジュウガツザクラやフユザクラ、コブクザクラなど、春の桜と比べると花が小さくて花数も少なく、華やかなイメージではありません。その中で、意外に派手なピンクの花を咲かせているのがヒマラヤザクラです。自生地はインドから中国南部、ビルマの高山の森で、かなりの高木になるようです。花の数が多く色も目立つので、離れた場所からでも探し出せます。新宿御苑ではサービスセンターの前にあり、広い御苑の中でもわかりやすいと思います。花の色は、他には白や淡いピンク色もあります。観察する際は花だけでなく、「滑らかな樹皮」にも注目してみてください。

ヒマラヤザクラが有名なのは熱海ですが、これはネパールのブレンドラ元国王が桜と梅の種を献上された返礼として贈ったもの。また、ヒマラヤザクラは二酸化炭素や窒素酸化物の吸収率が高いので、最近では温暖化対策としてか植栽がやや多くなっているようです。開花については現地へ確認の上、秋の散歩をお続けください。

※ Kaceのホームページでカラー写真をご覧いただけます。